

滋賀県 景況調査結果報告書

令和3年度第1四半期
(令和3年4～6月)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	10
4. 業種別の結果	14
5. 追加設問の結果	26

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和3年4～6月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査報告書については、滋賀県公式HPをご覧ください。

滋賀県公式HP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的：滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法：郵送アンケート

回答受付方法：しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	メール	合計
回答数	217	77	3	4	301
(割合)	72.1%	25.6%	1.0%	1.3%	100.0%

調査対象企業数：県内の事業所（750社）

回答受付期間：令和3年5月28日～6月17日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数：301社（回答率40.1%）

※大企業34社、中小企業267社（うち小規模事業者108社）

（参考）規模・業種別回答事業社内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	17	3	0	5	9	34
中小企業・ 小規模事業者	123	32	11	22	79	267
合計	140	35	11	27	88	301
（業種別比率）	46.5%	11.6%	3.7%	9.0%	29.2%	100.0%

（参考）地域・業種別回答事業社内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	13	8	4	7	19	51
南部地域	30	4	1	7	17	59
甲賀地域	23	4	2	3	11	43
東近江地域	30	6	2	3	12	53
湖東地域	18	5	0	3	8	34
湖北地域	19	4	1	1	13	38
高島地域	7	4	1	3	8	23
合計	140	35	11	27	88	301

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【結果の概要】

- ・ 県内企業における今期の業況DIは▲27.9と前期比21.5ポイント改善した。来期の業況DIについては、▲25.2とマイナス幅が縮小する見通し。
- ・ 今期の生産、売上、経常利益の各DIにおいてもマイナス幅が縮小したが、来期は生産と売上が改善、経常利益が悪化する見通し。
- ・ 規模別の業況DIでは、大企業が+2.9と前期比31.0ポイント改善、中小企業は▲31.8と前期比20.9ポイント改善した。来期は、大企業が0.0とプラス幅が縮小し、中小企業では▲28.4とマイナス幅が縮小する見通し。
- ・ 業種別の業況DIでは、製造業が▲20.7と前期比29.3ポイントと改善し、来期も▲17.3とマイナス幅が縮小する見通し。一方で、今期の小売業が▲38.5、サービス業は▲33.7であり、業種によって開きがみられる。

※本調査でのDI(ディフュージョン・インデックス)：「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期：令和3年4月～6月、来期：令和3年7月～9月

※業況、生産、売上、経常利益、在庫数量は昨年同時期と比較した回答、資金繰り、引合い、採算の水準、雇用の水準は今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

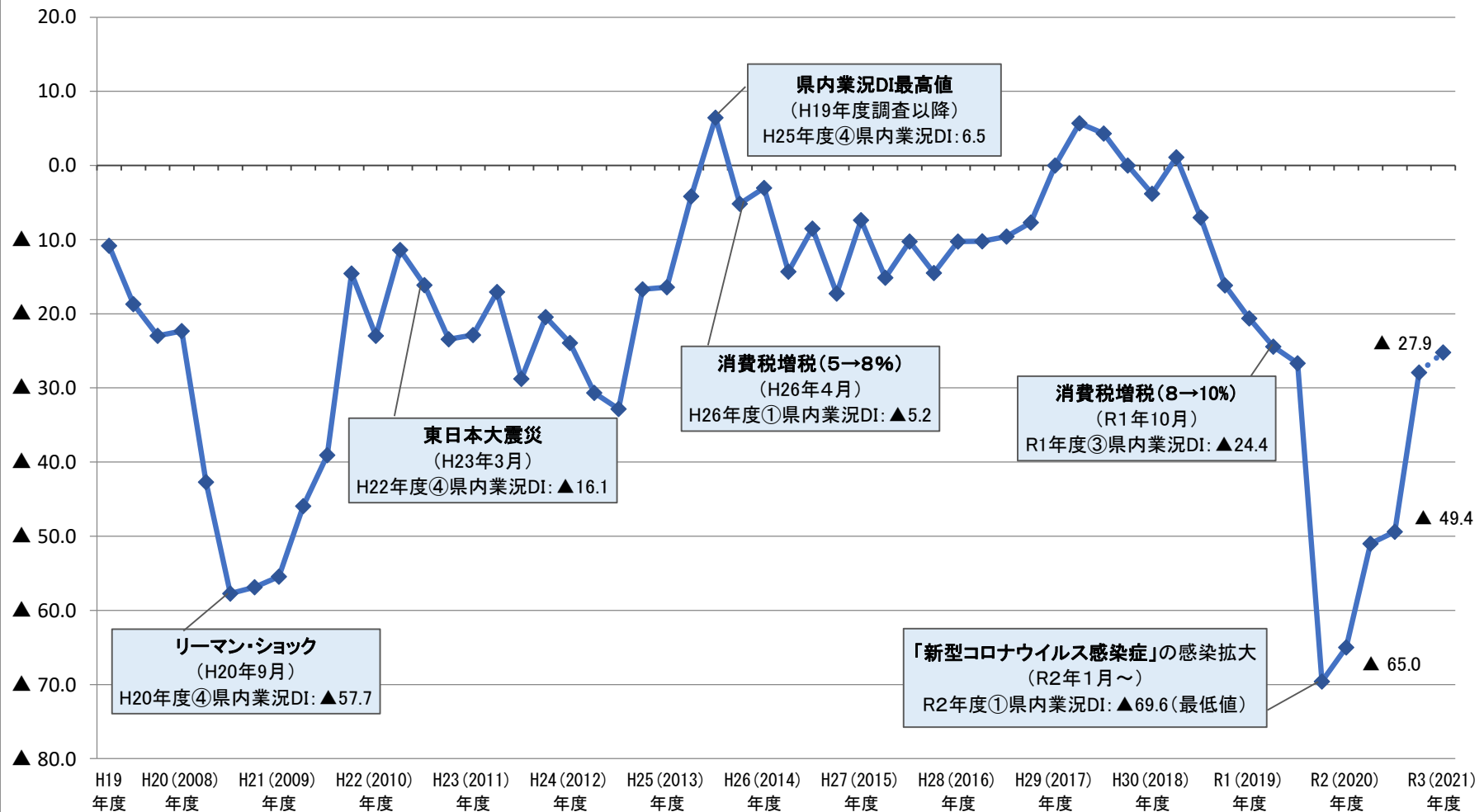
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業況DIの推移

（平成19年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



1. 調査概要

2. 全体

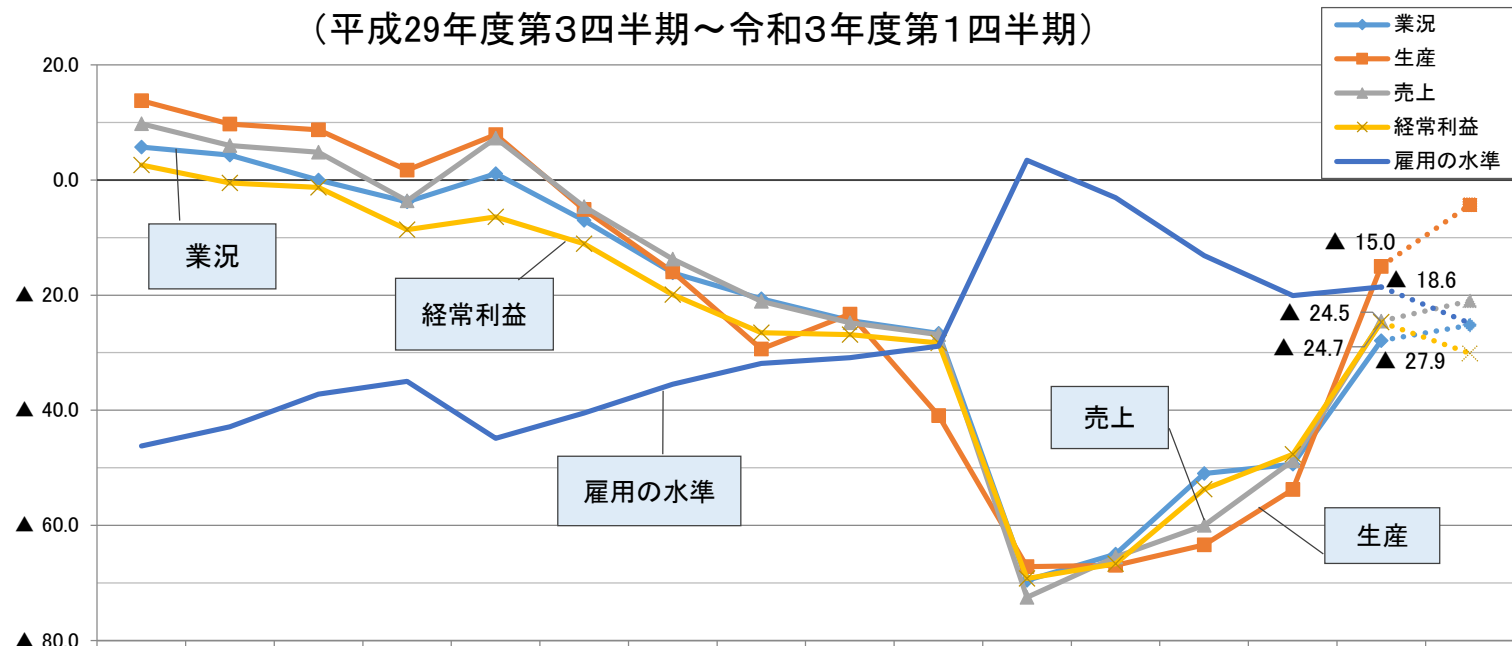
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

各種DIの推移

（平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度		第4 H30(2018)年度		第1 R1(2019)年度		第2 R1(2019)年度		第3 R1(2019)年度		第4 R1(2019)年度		第1 R2(2020)年度		第2 R2(2020)年度		第3 R2(2020)年度		第4 R2(2020)年度		第1 R3(2021)年度		見通し
業況	5.7	4.3	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 25.2							
生産	13.8	9.7	8.7	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	▲ 4.3							
売上	9.8	6.0	4.8	▲ 3.6	7.3	▲ 4.6	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 21.0							
経常利益	2.6	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 11.1	▲ 19.9	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 30.1							
雇用の水準	▲ 46.2	▲ 42.9	▲ 37.2	▲ 35.0	▲ 44.9	▲ 40.5	▲ 35.5	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 24.9							

【今期(令和3年4月～6月期)の県内企業の景況(前年同時期との比較)】

業況・生産・売上・経常利益の各DIはマイナス幅が縮小した。

【来期(令和3年7月～9月期)の見通し】

業況・生産・売上の各DIはマイナス幅が縮小するが、経常利益DIはマイナス幅が拡大する見通し。

雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

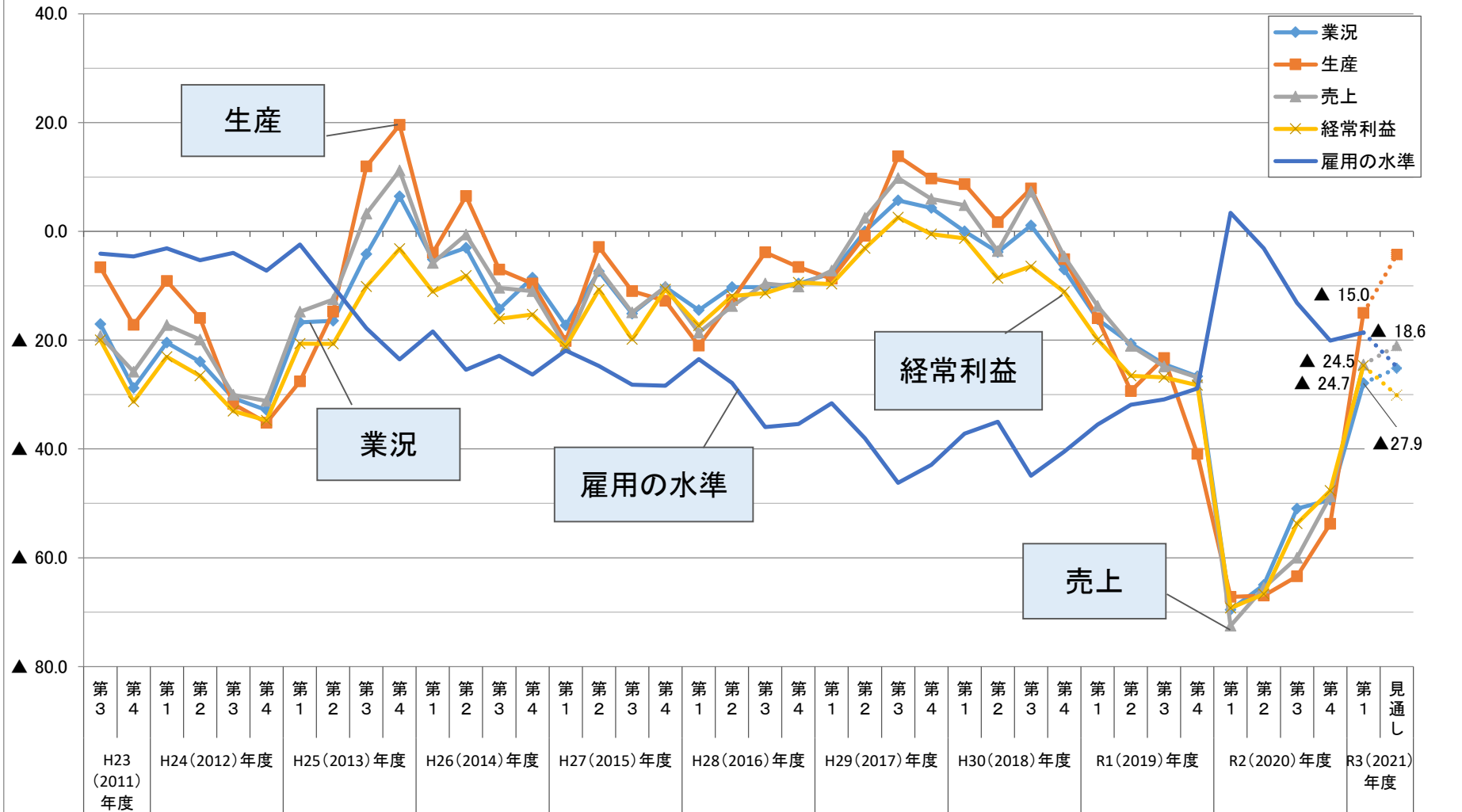
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

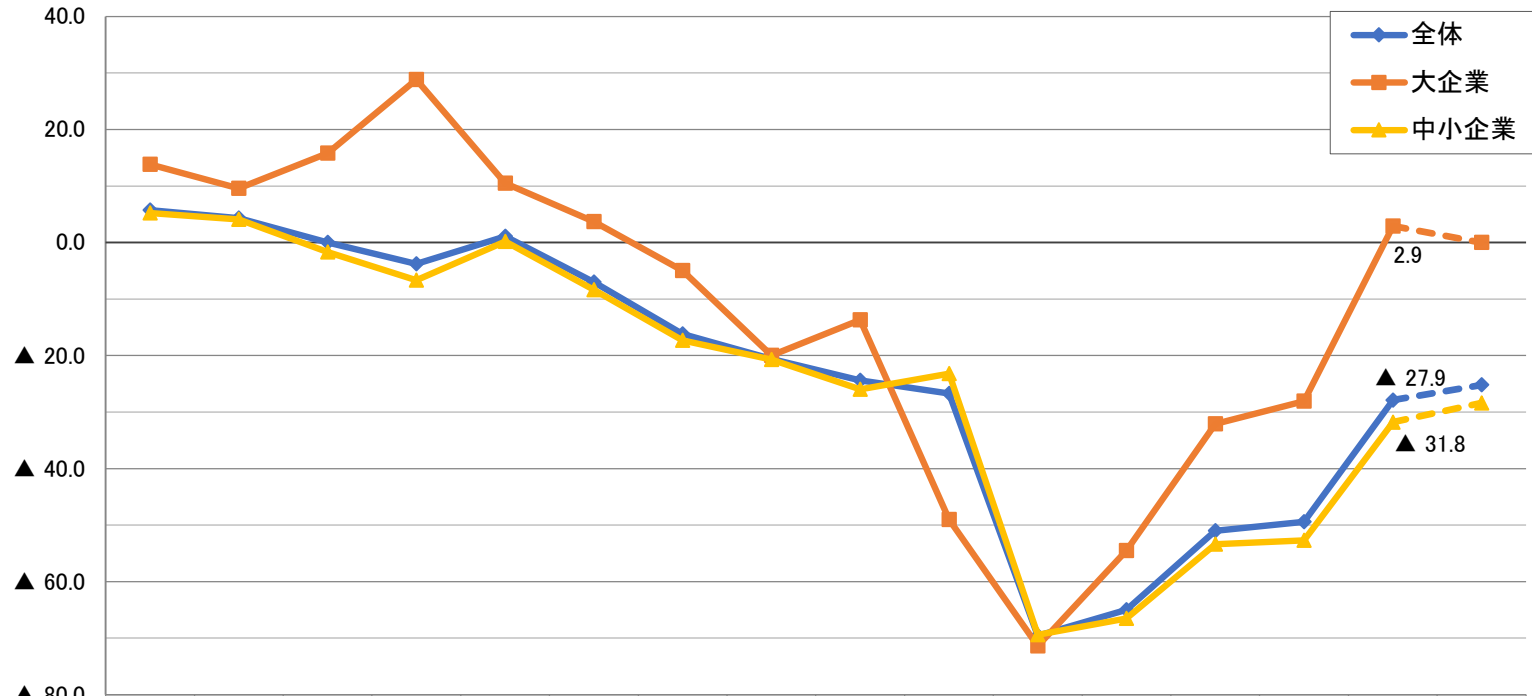
5. 追加設問

過去10年間の各種DIの推移 (平成23年度第3四半期～令和3年度第1四半期)



規模別業況DIの推移

（平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し	
	H29(2017)年度				H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度
● 全体	5.7	4.3	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 25.2	
■ 大企業	13.8	9.6	15.8	28.8	10.5	3.7	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	0.0	
▲ 中小企業	5.2	4.1	▲ 1.7	▲ 6.7	0.2	▲ 8.4	▲ 17.3	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 28.4	

【大企業】 今期：+2.9とマイナス幅が縮小し、プラスに転じた。

来期：0.0とプラス幅が縮小する見通し。

【中小企業】 今期：▲31.8とマイナス幅が縮小した。

来期：▲28.4とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要

2. 全体

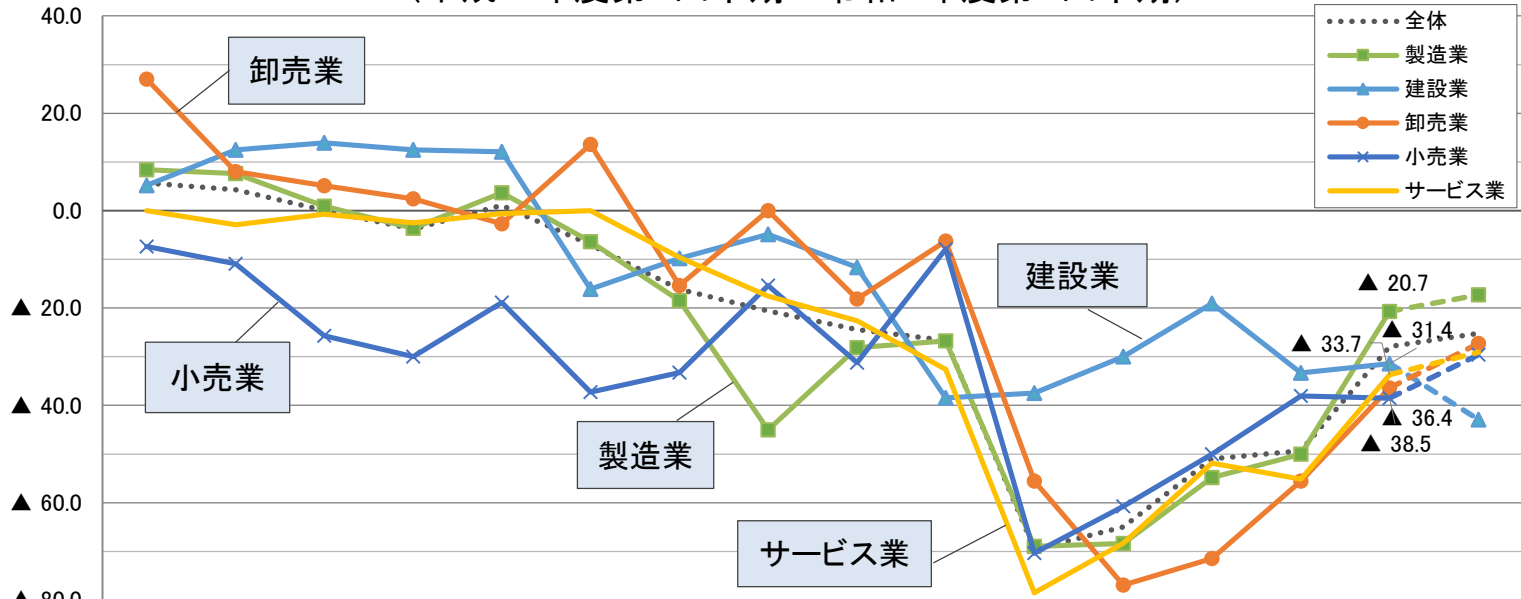
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業種別業況DIの推移

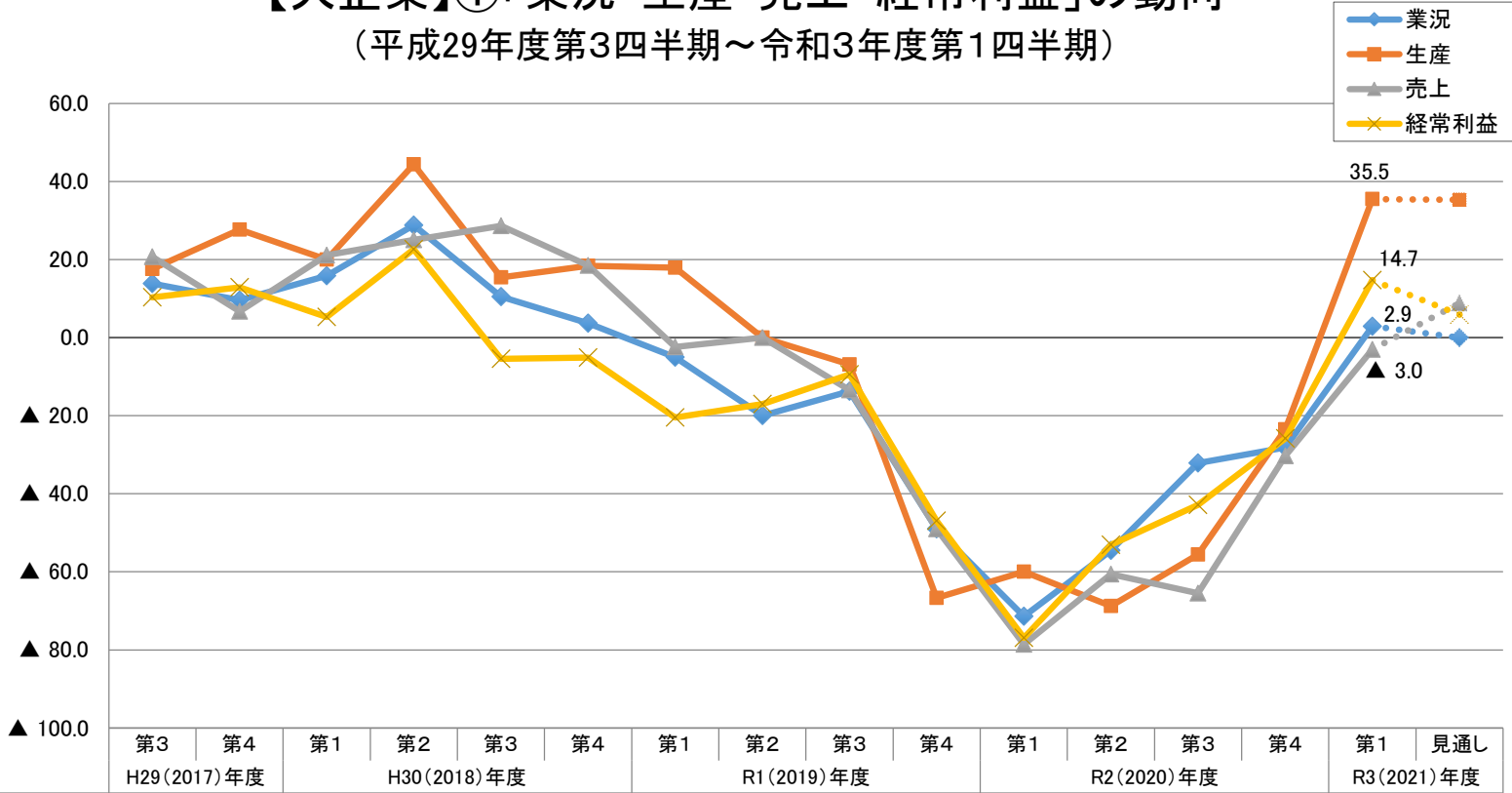
（平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度						R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度	
.....全体	5.7	4.3	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 25.2
—■—製造業	8.4	7.6	0.9	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.5	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 17.3
—▲—建設業	5.2	12.5	13.9	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 42.9
—●—卸売業	27.0	8.0	5.1	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 27.3
—×—小売業	▲ 7.4	▲ 10.9	▲ 25.7	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 29.6
—■—サービス業	0.0	▲ 2.9	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 29.1

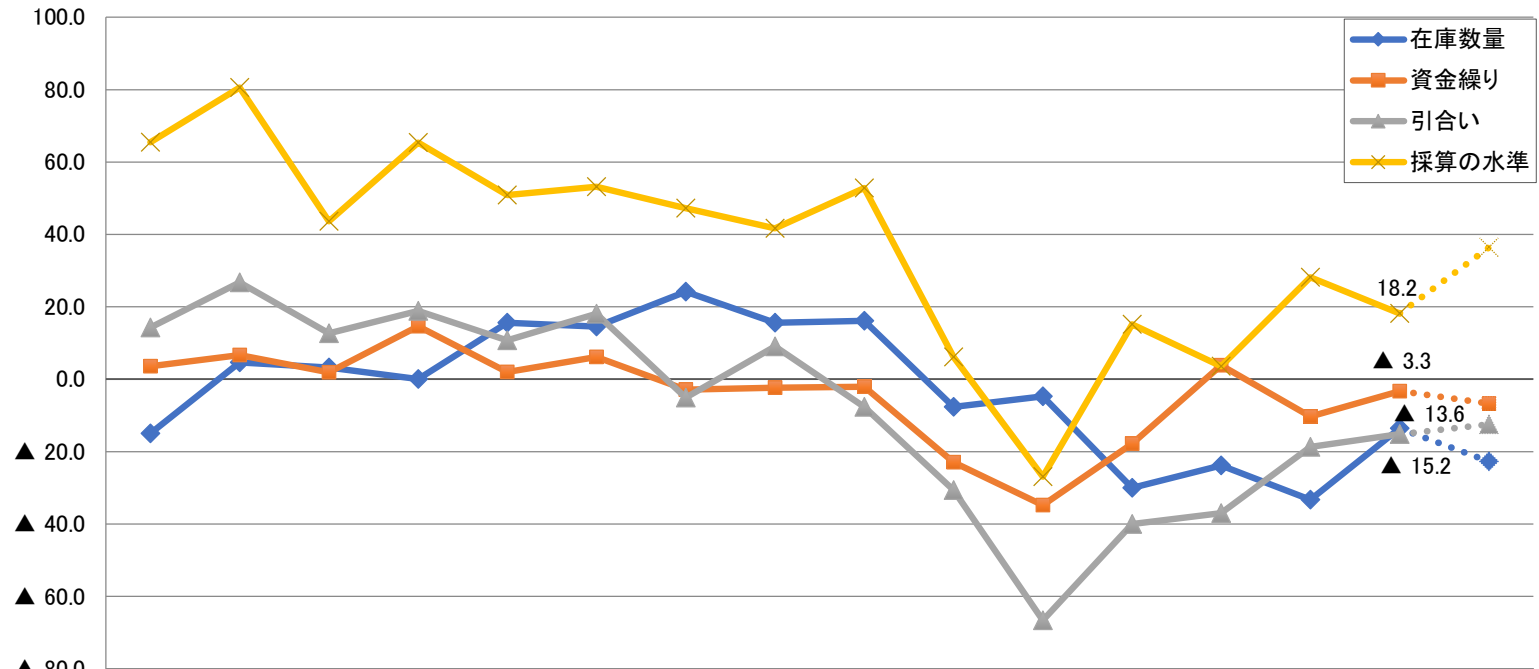
【製造業】	今期：▲20.7とマイナス幅が縮小した。	来期：▲17.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期：▲31.4とマイナス幅が縮小した。	来期：▲42.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期：▲36.4とマイナス幅が縮小した。	来期：▲27.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【小売業】	今期：▲38.5とマイナス幅が拡大した。	来期：▲29.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【サービス業】	今期：▲33.7とマイナス幅が縮小した。	来期：▲29.1とマイナス幅が縮小する見通し。

【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



【業況】	今期：+2.9とマイナス幅が縮小し、プラスに転じた。	来期：0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期：+35.5とマイナス幅が縮小し、プラスに転じた。	来期：+35.3とプラス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期：▲3.0とマイナス幅が縮小した。	来期：+8.8とプラスに転じる見通し。
【経常利益】	今期：+14.7とマイナス幅が縮小し、プラスに転じた。	来期：+5.9とプラス幅が縮小する見通し。

【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			
在庫数量	▲ 15.0	4.6	3.2	0.0	15.6	14.5	24.1	15.6	16.1	▲ 7.7	▲ 4.8	▲ 30.0	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 13.6	▲ 22.7
資金繰り	3.6	6.7	1.9	14.6	2.0	6.1	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 22.9	▲ 34.8	▲ 17.9	3.8	▲ 10.3	▲ 3.3	▲ 6.7
引合い	14.3	26.7	12.7	18.9	10.7	18.1	▲ 5.1	9.1	▲ 7.7	▲ 30.6	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 37.0	▲ 18.8	▲ 15.2	▲ 12.5
採算の水準	65.5	80.6	43.6	65.4	50.9	53.2	47.2	41.7	52.8	6.1	▲ 26.9	15.2	3.6	28.1	18.2	36.4

【在庫数量】	今期：▲13.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲22.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期：▲3.3とマイナス幅が縮小した。	来期：▲6.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲15.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲12.5とマイナス幅が縮小する見通し。
【採算の水準】	今期：+18.2とプラス幅が縮小した。	来期：+36.4とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

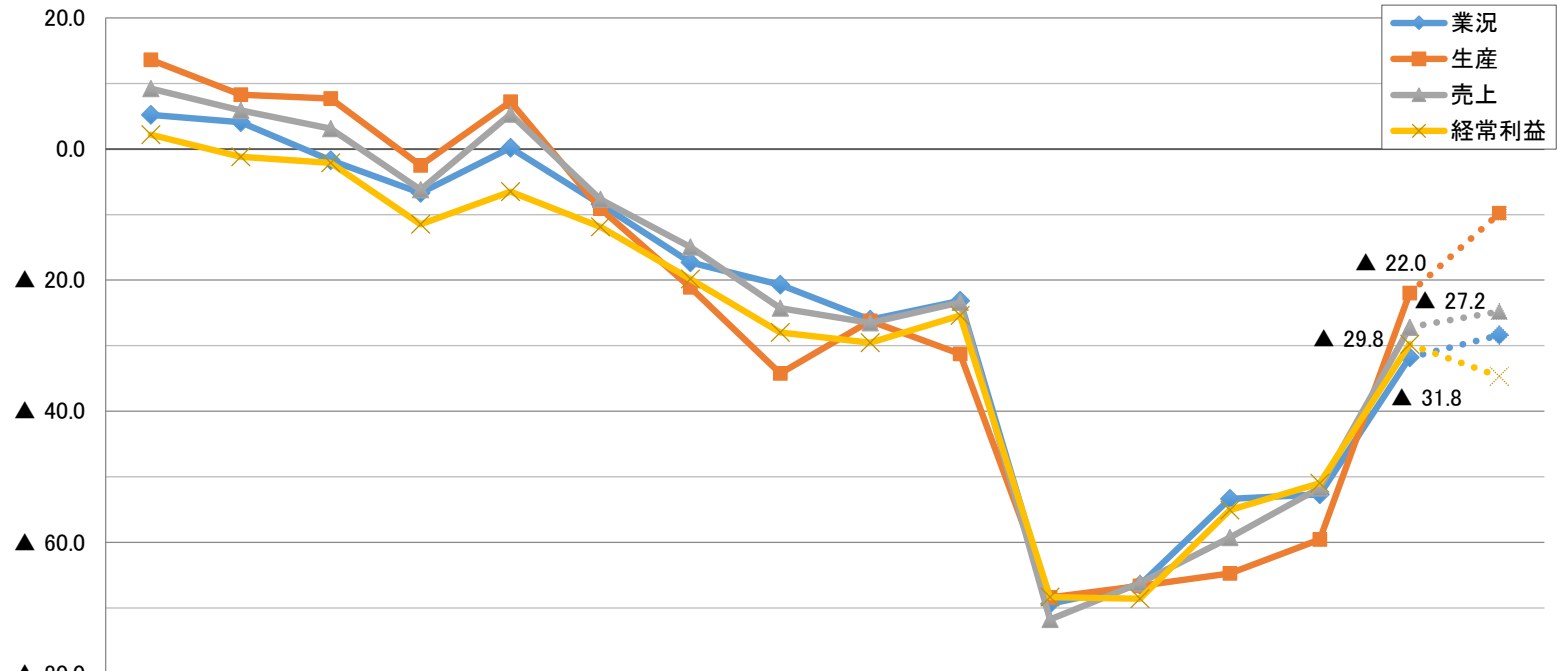
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4 H29(2017)年度	第1 H30(2018)年度	第2 H30(2018)年度	第3 H30(2018)年度	第4 H30(2018)年度	第1 R1(2019)年度	第2 R1(2019)年度	第3 R1(2019)年度	第4 R1(2019)年度	第1 R2(2020)年度	第2 R2(2020)年度	第3 R2(2020)年度	第4 R2(2020)年度	第1 R3(2021)年度	見通し
業況	5.2	4.1	▲ 1.7	▲ 6.7	0.2	▲ 8.4	▲ 17.3	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 28.4
生産	13.6	8.3	7.7	▲ 2.5	7.2	▲ 9.1	▲ 21.1	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 68.4	▲ 66.7	▲ 64.8	▲ 59.6	▲ 22.0	▲ 9.8
売上	9.2	5.9	3.1	▲ 6.2	5.3	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 24.3	▲ 26.5	▲ 23.4	▲ 71.8	▲ 66.2	▲ 59.3	▲ 51.7	▲ 27.2	▲ 24.8
経常利益	2.2	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 11.5	▲ 6.5	▲ 11.9	▲ 19.8	▲ 28.0	▲ 29.5	▲ 25.4	▲ 68.4	▲ 68.6	▲ 55.1	▲ 51.0	▲ 29.8	▲ 34.7

【業況】 今期：▲31.8とマイナス幅が縮小した。

来期：▲28.4とマイナス幅が縮小する見通し。

【生産】 今期：▲22.0とマイナス幅が縮小した。

来期：▲9.8とマイナス幅が縮小する見通し。

【売上】 今期：▲27.2とマイナス幅が縮小した。

来期：▲24.8とマイナス幅が縮小する見通し。

【経常利益】 今期：▲29.8とマイナス幅が縮小した。

来期：▲34.7とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

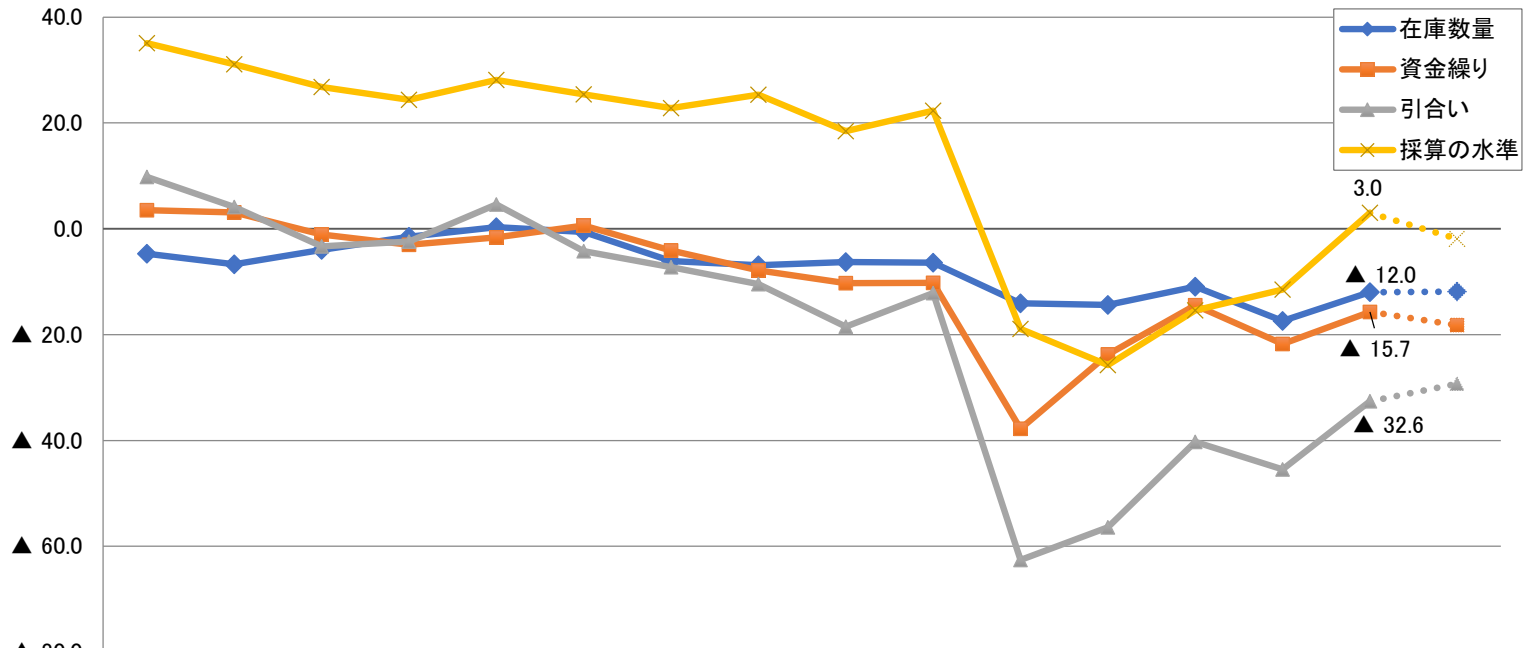
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

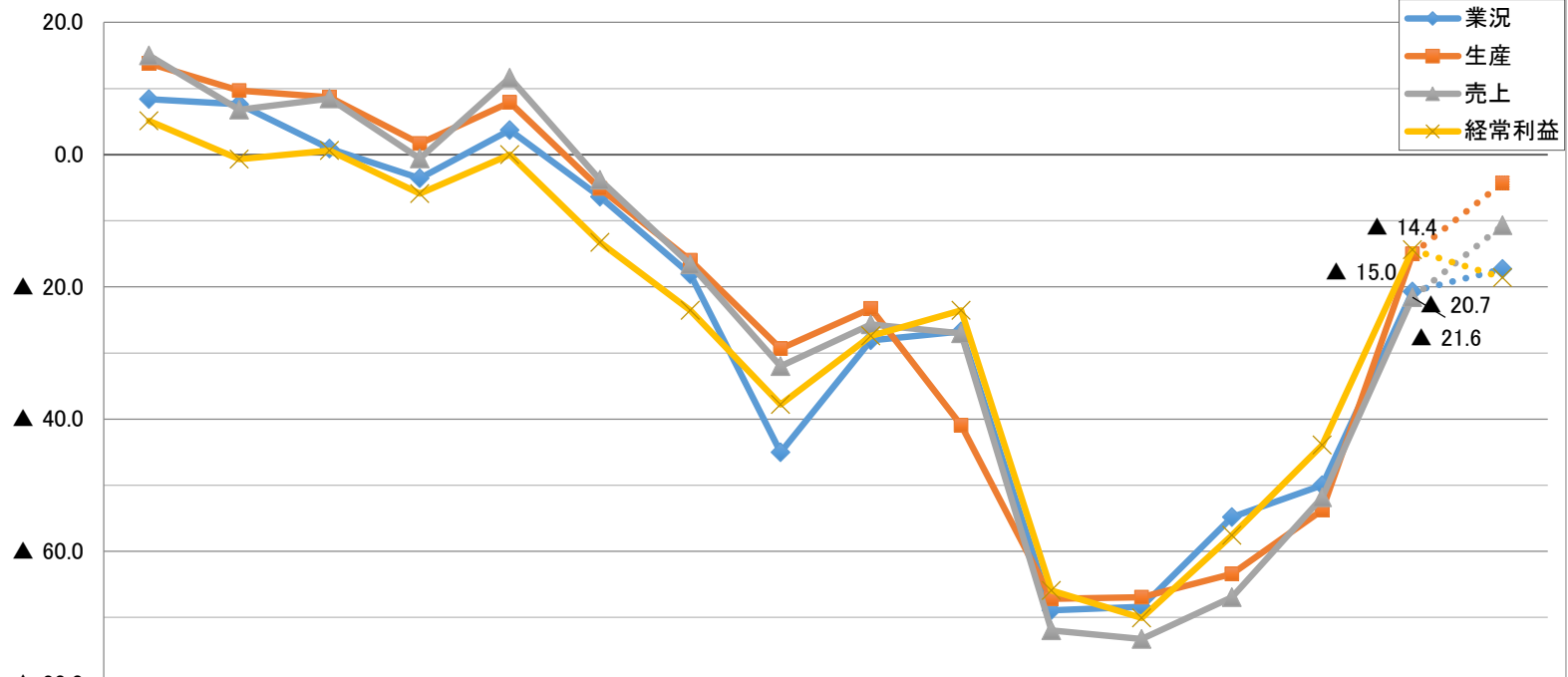
【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度		第1 H30(2018)年度				第1 R1(2019)年度				第1 R2(2020)年度				第1 R3(2021)年度		見通し
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し	
在庫数量	▲ 4.7	▲ 6.7	▲ 4.0	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	▲ 6.1	▲ 6.9	▲ 6.3	▲ 6.4	▲ 14.1	▲ 14.4	▲ 10.9	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 11.9	
資金繰り	3.5	3.1	▲ 1.1	▲ 3.0	▲ 1.6	0.6	▲ 4.1	▲ 7.9	▲ 10.3	▲ 10.2	▲ 37.8	▲ 23.8	▲ 14.5	▲ 21.7	▲ 15.7	▲ 18.2	
引合い	9.8	4.1	▲ 3.3	▲ 2.4	4.6	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 18.5	▲ 12.2	▲ 62.6	▲ 56.4	▲ 40.3	▲ 45.5	▲ 32.6	▲ 29.3	
採算の水準	35.1	31.1	26.8	24.4	28.1	25.4	22.8	25.3	18.5	22.3	▲ 18.9	▲ 25.8	▲ 15.4	▲ 11.5	3.0	▲ 1.9	

【在庫数量】	今期：▲12.0とマイナス幅が縮小した。	来期：▲11.9とマイナス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期：▲15.7とマイナス幅が縮小した。	来期：▲18.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲32.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲29.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【採算の水準】	今期：+3.0とマイナス幅が縮小し、プラスに転じた。	来期：▲1.9とマイナスに転じる見通し。

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



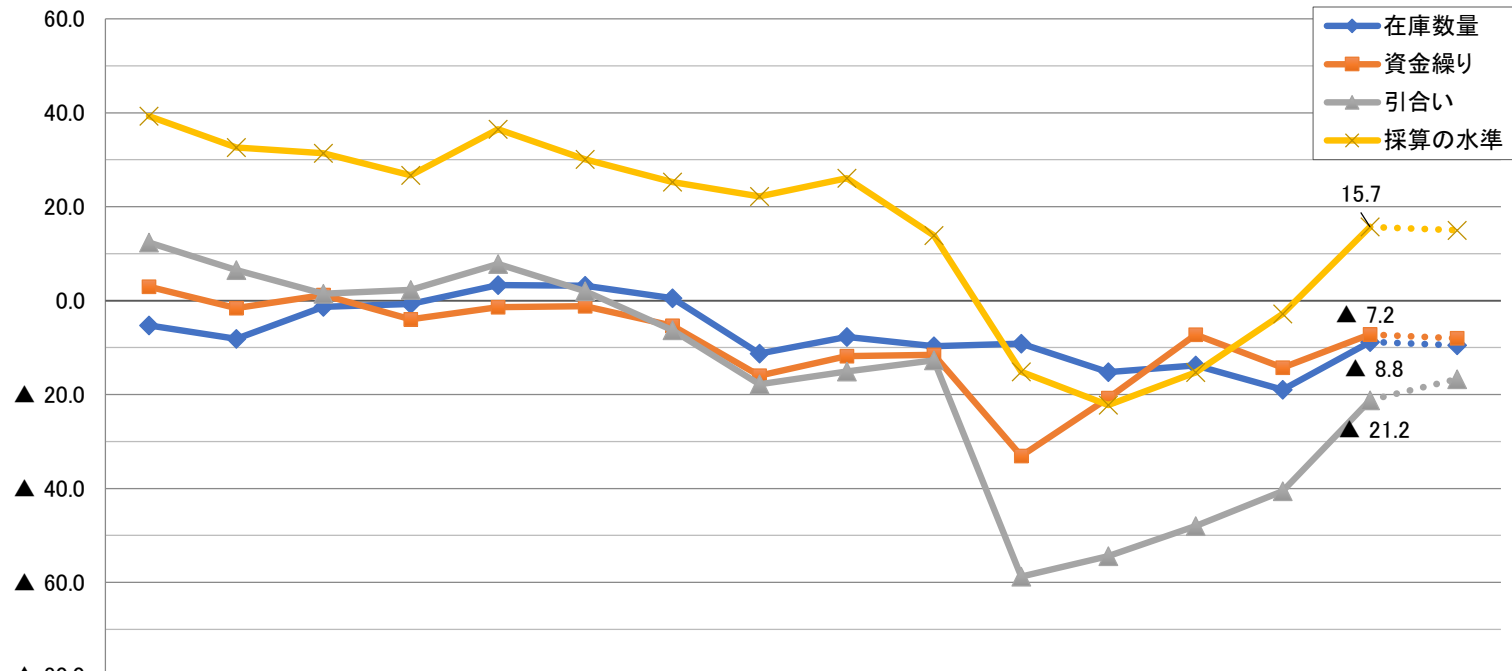
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H29(2017)年度		H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度	
業況	8.4	7.6	0.9	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 17.3
生産	13.8	9.7	8.7	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	▲ 4.3
売上	15.0	6.8	8.5	▲ 0.6	11.6	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 10.7
経常利益	5.1	▲ 0.7	0.6	▲ 5.9	0.0	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	▲ 18.6

【業況】 今期：▲20.7とマイナス幅が縮小した。
 【生産】 今期：▲15.0とマイナス幅が縮小した。
 【売上】 今期：▲21.6とマイナス幅が縮小した。
 【経常利益】 今期：▲14.4とマイナス幅が縮小した。

来期：▲17.3とマイナス幅が縮小する見通し。
 来期：▲4.3とマイナス幅が縮小する見通し。
 来期：▲10.7とマイナス幅が縮小する見通し。
 来期：▲18.6とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

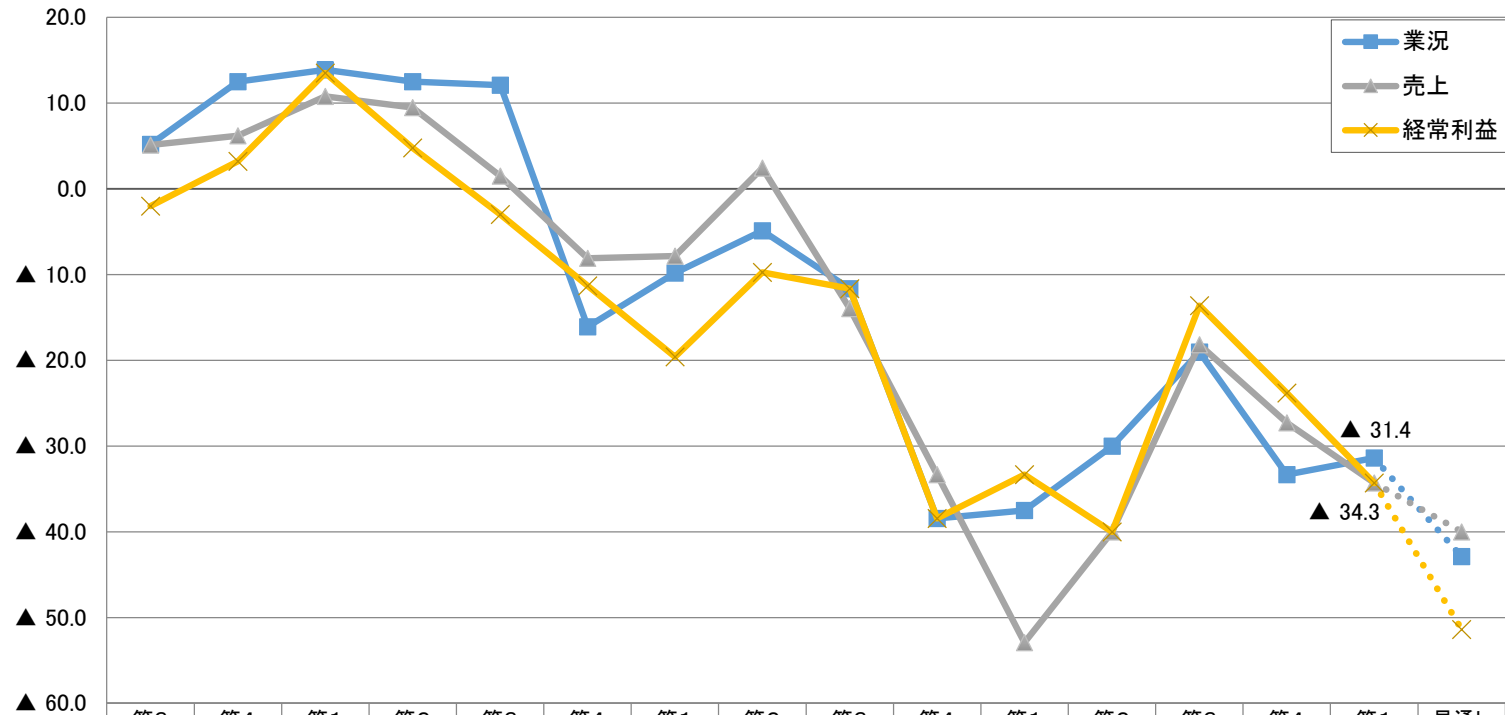
【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度						R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度	
在庫数量	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 0.7	3.3	3.2	0.5	▲ 11.2	▲ 7.7	▲ 9.7	▲ 9.2	▲ 15.2	▲ 13.8	▲ 19.0	▲ 8.8	▲ 9.5
資金繰り	3.0	▲ 1.6	1.2	▲ 4.0	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 5.3	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 11.6	▲ 33.1	▲ 20.7	▲ 7.3	▲ 14.3	▲ 7.2	▲ 8.0
引合い	12.4	6.5	1.5	2.3	7.8	2.0	▲ 6.3	▲ 17.8	▲ 15.1	▲ 12.7	▲ 58.8	▲ 54.4	▲ 48.0	▲ 40.6	▲ 21.2	▲ 16.7
採算の水準	39.3	32.6	31.4	26.7	36.5	30.1	25.2	22.2	26.1	13.9	▲ 15.2	▲ 22.2	▲ 15.3	▲ 2.8	15.7	15.0

【在庫数量】	今期：▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期：▲9.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期：▲7.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲8.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲21.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲16.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【採算の水準】	今期：+15.7とマイナス幅が縮小し、プラスに転じた。	来期：+15.0とプラス幅が縮小する見通し。

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度					R1(2019)年度					R2(2020)年度				R3(2021)年度	
■ 業況	5.2	12.5	13.9	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 42.9
▲ 売上	5.1	6.2	10.8	9.5	1.5	▲ 8.1	▲ 7.8	2.4	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 34.3	▲ 40.0
× 経常利益	▲ 2.0	3.2	13.5	4.8	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 19.6	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 34.3	▲ 51.4

【業況】 今期：▲31.4とマイナス幅が縮小した。

来期：▲42.9とマイナス幅が拡大する見通し。

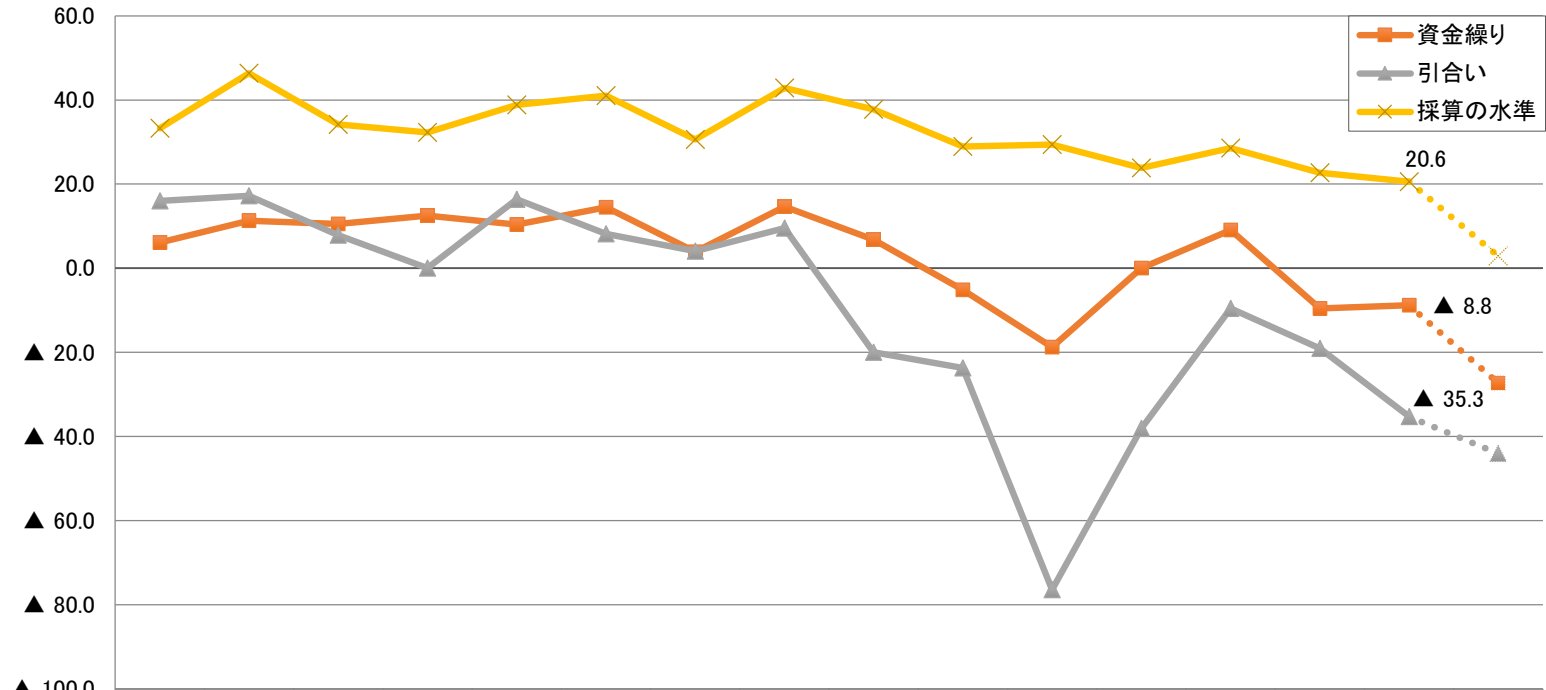
【売上】 今期：▲34.3とマイナス幅が拡大した。

来期：▲40.0とマイナス幅が拡大する見通し。

【経常利益】 今期：▲34.3とマイナス幅が拡大した。

来期：▲51.4とマイナス幅が拡大する見通し。

【建設業】②「資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度						R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度	
■ 資金繰り	6.1	11.3	10.5	12.5	10.4	14.5	3.9	14.6	6.8	▲ 5.1	▲ 18.8	0.0	9.1	▲ 9.5	▲ 8.8	▲ 27.3
▲ 引合い	16.0	17.2	7.9	0.0	16.4	8.2	4.1	9.5	▲ 20.0	▲ 23.7	▲ 76.5	▲ 38.1	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 35.3	▲ 44.1
× 採算の水準	33.3	46.4	34.2	32.3	38.8	41.0	30.6	42.9	37.8	28.9	29.4	23.8	28.6	22.7	20.6	2.9

【資金繰り】 今期：▲8.8とマイナス幅が縮小した。

来期：▲27.3とマイナス幅が拡大する見通し。

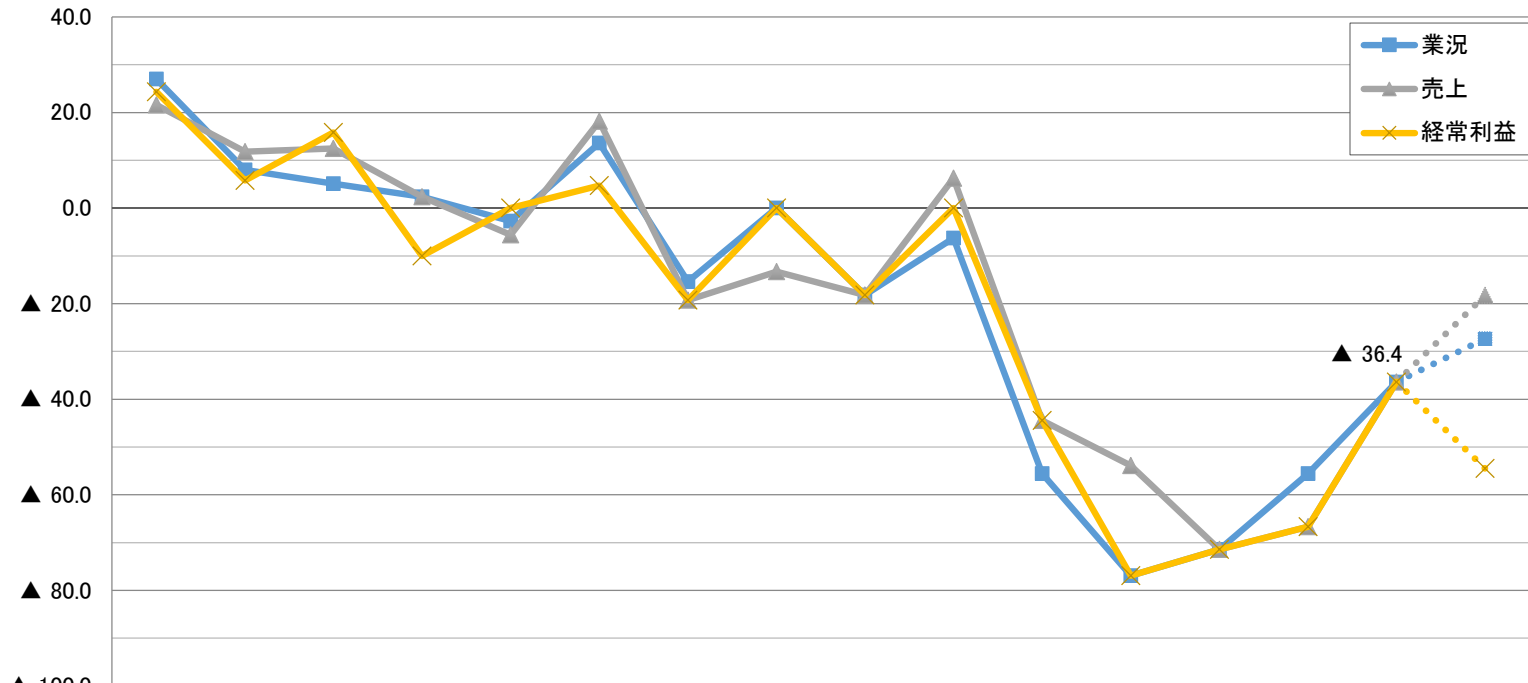
【引合い】 今期：▲35.3とマイナス幅が拡大した。

来期：▲44.1とマイナス幅が拡大する見通し。

【採算の水準】 今期：+20.6とプラス幅が縮小した。

来期：+2.9とプラス幅が縮小する見通し。

【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 第4		第1 第2		第3 第4		第1 第2		第3 第4		第1 第2		第3 第4		第1	見通し
	H29(2017)年度		H30(2018)年度		R1(2019)年度		R2(2020)年度		R2(2020)年度		R2(2020)年度		R3(2021)年度		R3(2021)年度	R3(2021)年度
■ 業況	27.0	8.0	5.1	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 27.3
▲ 売上	21.6	11.8	12.5	2.4	▲ 5.6	18.2	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 18.2	6.3	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.2
× 経常利益	24.3	5.8	15.8	▲ 10.0	0.0	4.7	▲ 19.2	0.0	▲ 18.2	0.0	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 54.5

【業況】 今期：▲36.4とマイナス幅が縮小した。

来期：▲27.3とマイナス幅が縮小する見通し。

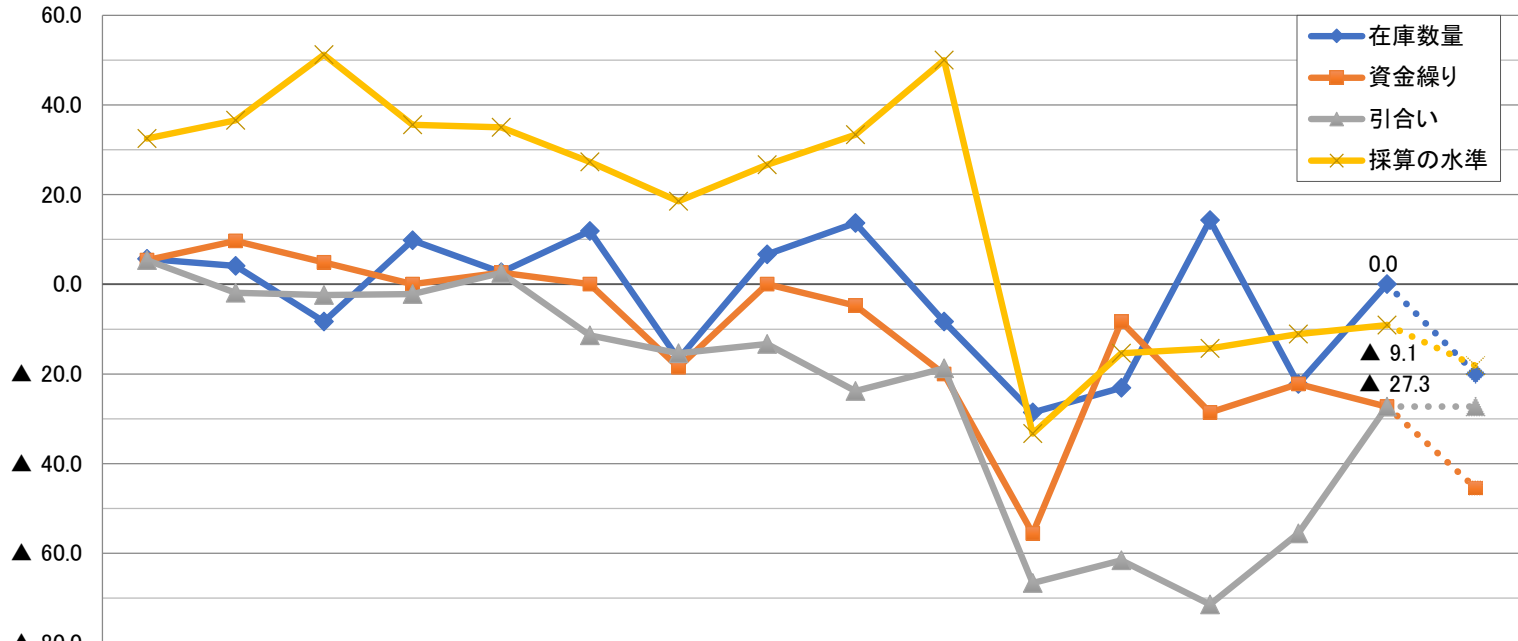
【売上】 今期：▲36.4とマイナス幅が縮小した。

来期：▲18.2とマイナス幅が縮小する見通し。

【経常利益】 今期：▲36.4とマイナス幅が縮小した。

来期：▲54.5とマイナス幅が拡大する見通し。

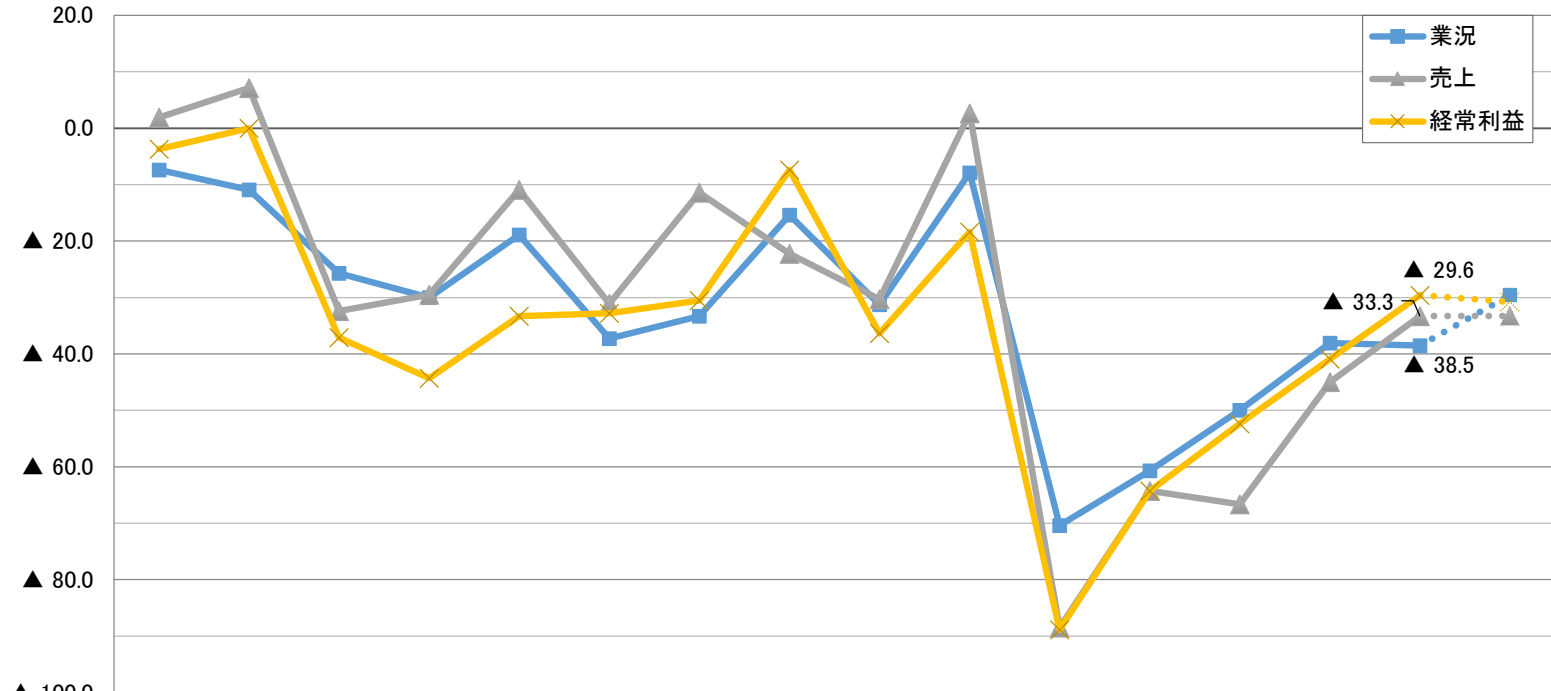
【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度		第1 第2 第3 第4 H30(2018)年度				第1 第2 第3 第4 R1(2019)年度				第1 第2 第3 第4 R2(2020)年度				第1 見通し R3(2021)年度	
在庫数量	5.7	4.1	▲ 8.3	9.8	2.7	11.9	▲ 16.7	6.7	13.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 23.1	14.3	▲ 22.2	0.0	▲ 20.0
資金繰り	5.4	9.7	4.9	0.0	2.6	0.0	▲ 18.5	0.0	▲ 4.8	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 45.5
引合い	5.4	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 2.2	2.5	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 13.3	▲ 23.8	▲ 18.8	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 27.3
採算の水準	32.5	36.6	51.2	35.6	35.0	27.3	18.5	26.7	33.3	50.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 18.2

【在庫数量】	今期: 0.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲20.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲27.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲45.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲27.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲27.3と同水準の見通し。
【採算の水準】	今期: ▲9.1とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲18.2とマイナス幅が拡大する見通し。

【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度		第1 H30(2018)年度				第1 R1(2019)年度				第2 R2(2020)年度				第1 R3(2021)年度		見通し
■ 業況	▲ 7.4	▲ 10.9	▲ 25.7	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 29.6	
▲ 売上	1.9	7.1	▲ 32.4	▲ 29.5	▲ 10.9	▲ 31.1	▲ 11.4	▲ 22.2	▲ 30.3	2.6	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 33.3	
× 経常利益	▲ 3.7	0.0	▲ 37.1	▲ 44.3	▲ 33.3	▲ 32.8	▲ 30.6	▲ 7.4	▲ 36.4	▲ 18.4	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 30.8	

【業況】 今期：▲38.5とマイナス幅が拡大した。

来期：▲29.6とマイナス幅が縮小する見通し。

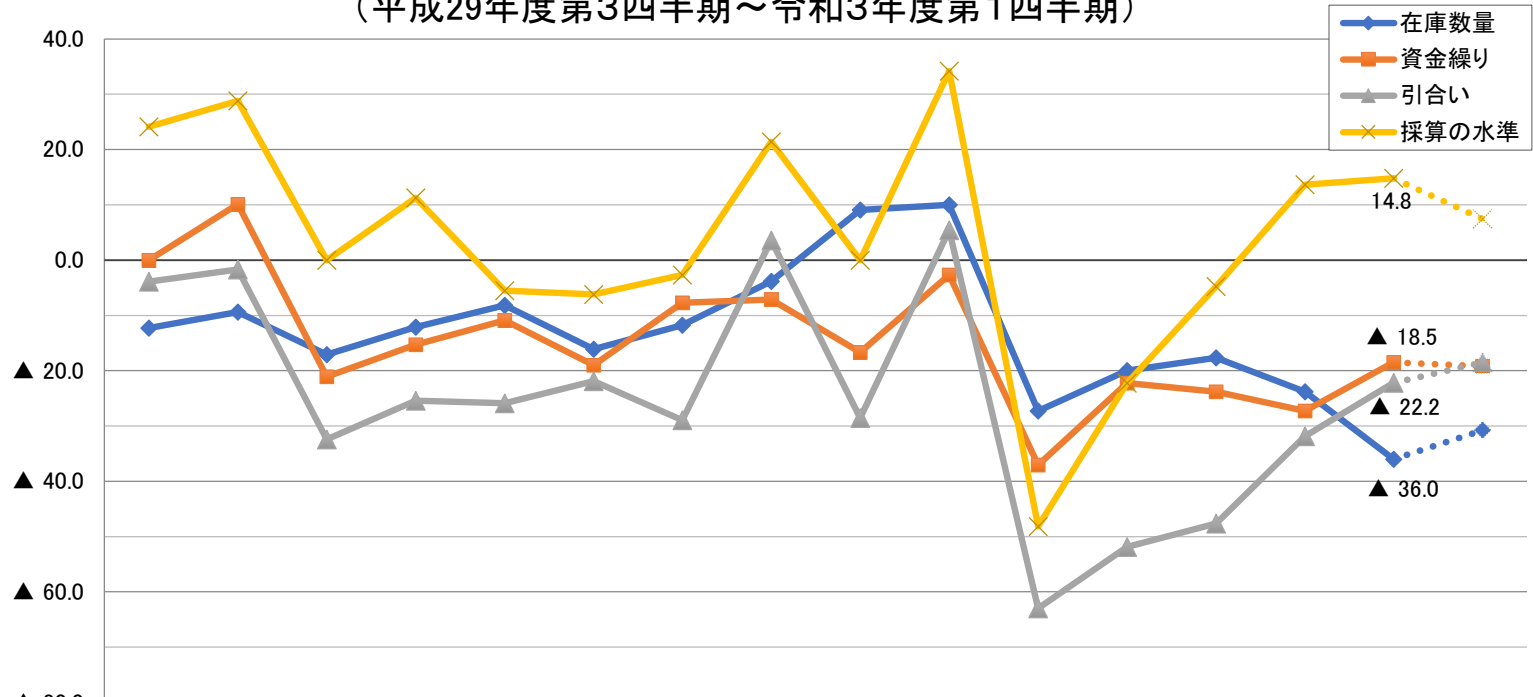
【売上】 今期：▲33.3とマイナス幅が縮小した。

来期：▲33.3と同水準の見通し。

【経常利益】 今期：▲29.6とマイナス幅が縮小した。

来期：▲30.8とマイナス幅が拡大する見通し。

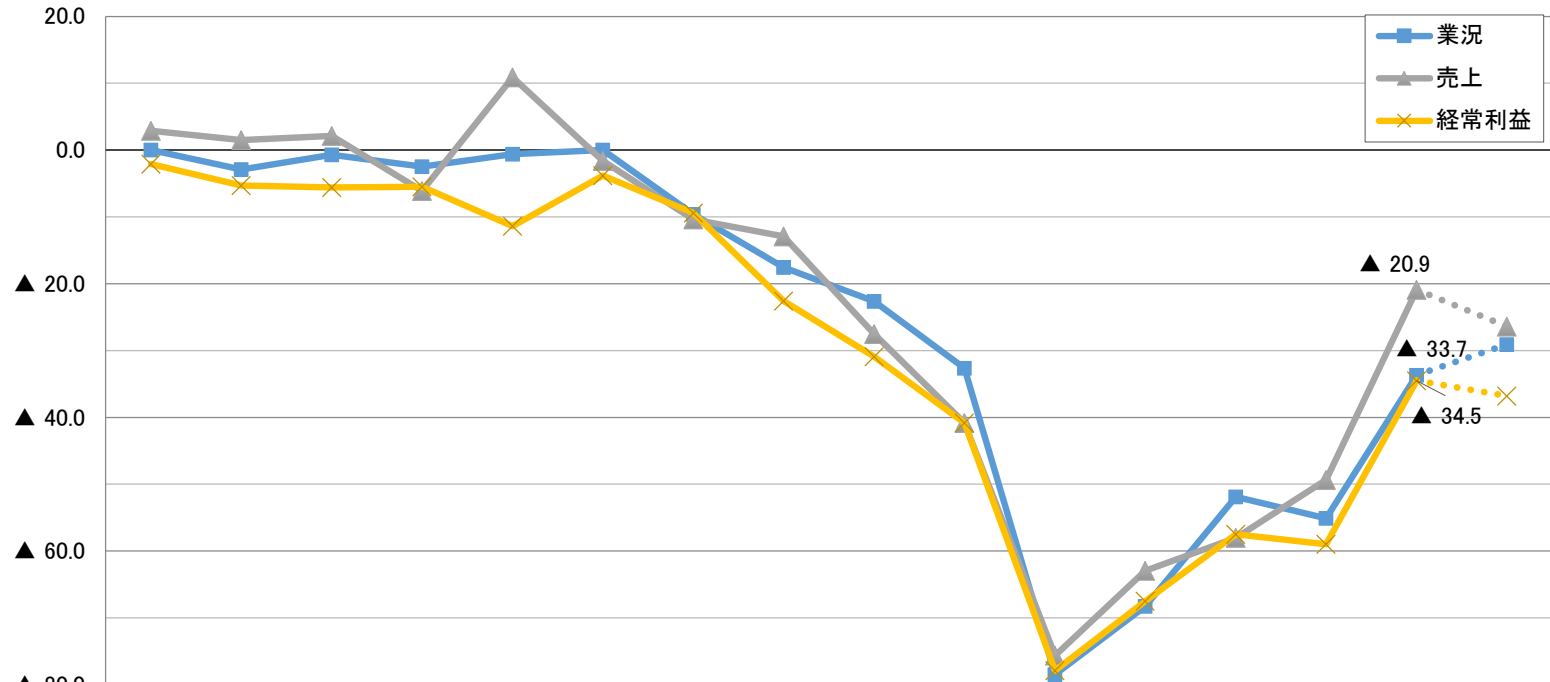
【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			
在庫数量	▲12.3	▲9.4	▲17.1	▲12.1	▲8.2	▲16.1	▲11.8	▲3.8	9.1	10.0	▲27.3	▲20.0	▲17.6	▲23.8	▲36.0	▲30.8
資金繰り	0.0	10.1	▲21.1	▲15.3	▲10.9	▲19.0	▲7.7	▲7.1	▲16.7	▲2.7	▲37.0	▲22.2	▲23.8	▲27.3	▲18.5	▲19.2
引合い	▲3.9	▲1.7	▲32.4	▲25.4	▲25.9	▲21.9	▲28.9	3.6	▲28.6	5.4	▲63.0	▲51.9	▲47.6	▲31.8	▲22.2	▲18.5
採算の水準	24.1	28.8	0.0	11.3	▲5.5	▲6.2	▲2.7	21.4	0.0	34.2	▲48.1	▲22.2	▲4.8	13.6	14.8	7.4

【在庫数量】	今期：▲36.0とマイナス幅が拡大した。	来期：▲30.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期：▲18.5とマイナス幅が縮小した。	来期：▲19.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲22.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲18.5とマイナス幅が縮小する見通し。
【採算の水準】	今期：+14.8とプラス幅が拡大した。	来期：+7.4とプラス幅が縮小する見通し。

【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期）



	第3 第4		第1 第2 第3 第4				第1 第2 第3 第4				第1 第2 第3 第4				第1	見通し
	H29(2017)年度		H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度	
■ 業況	0.0	▲ 2.9	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 29.1
▲ 売上	2.9	1.5	2.1	▲ 6.1	10.9	▲ 1.6	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 26.4
× 経常利益	▲ 2.1	▲ 5.3	▲ 5.6	▲ 5.5	▲ 11.4	▲ 3.8	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 36.8

【業況】	今期：▲33.7とマイナス幅が縮小した。	来期：▲29.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期：▲20.9とマイナス幅が縮小した。	来期：▲26.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期：▲34.5とマイナス幅が縮小した。	来期：▲36.8とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

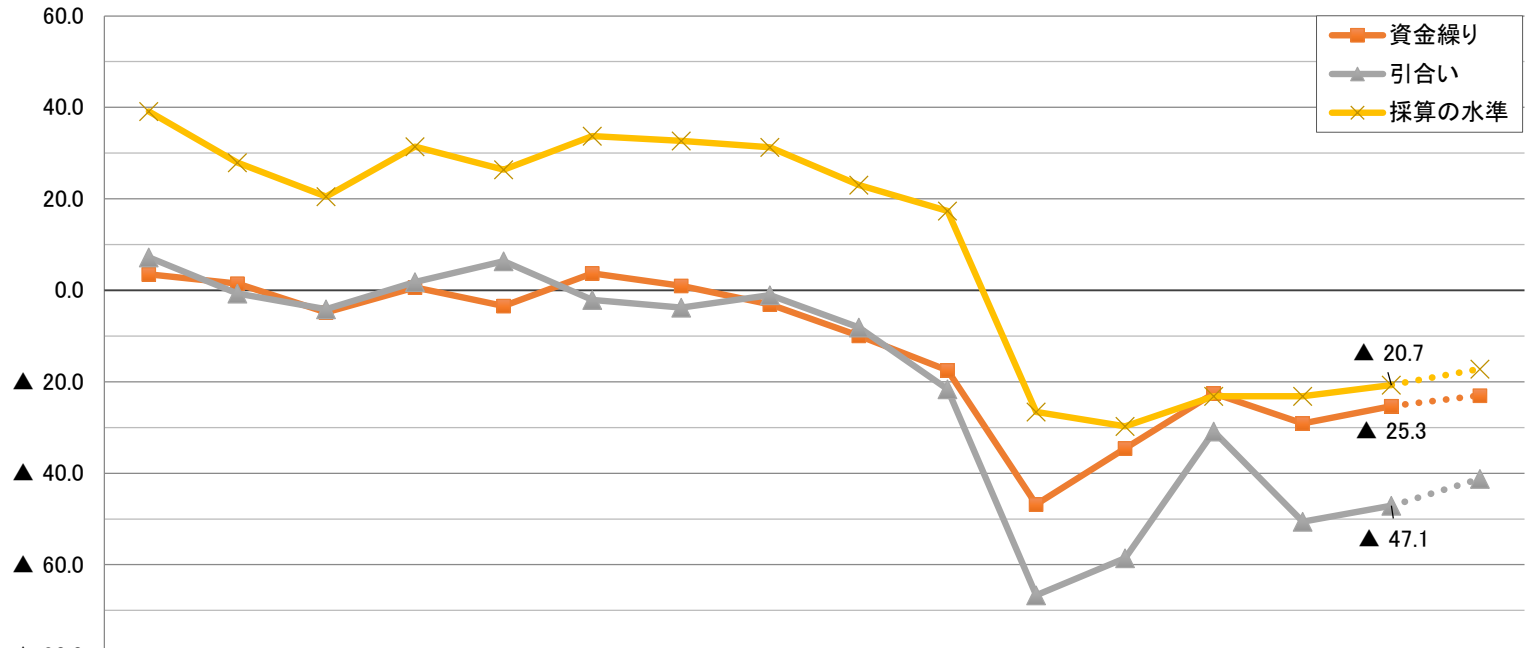
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【サービス業】②「資金繰り・引合い・採算の水準」の動向 (平成29年度第3四半期～令和3年度第1四半期)



	第3 H29(2017)年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度						R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度	
資金繰り	3.5	1.5	▲ 4.8	0.6	▲ 3.4	3.7	1.0	▲ 3.1	▲ 9.9	▲ 17.5	▲ 46.8	▲ 34.6	▲ 22.5	▲ 29.1	▲ 25.3	▲ 23.0
引合い	7.2	▲ 0.7	▲ 4.1	1.8	6.4	▲ 2.1	▲ 3.8	▲ 1.0	▲ 8.1	▲ 21.6	▲ 66.7	▲ 58.5	▲ 30.9	▲ 50.6	▲ 47.1	▲ 41.2
採算の水準	39.1	27.9	20.5	31.4	26.4	33.7	32.7	31.3	23.0	17.3	▲ 26.6	▲ 29.8	▲ 23.2	▲ 23.2	▲ 20.7	▲ 17.2

【資金繰り】 今期: ▲25.3とマイナス幅が縮小した。

来期: ▲23.0とマイナス幅が縮小する見通し。

【引合い】 今期: ▲47.1とマイナス幅が縮小した。

来期: ▲41.2とマイナス幅が縮小する見通し。

【採算の水準】 今期: ▲20.7とマイナス幅が縮小した。

来期: ▲17.2とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要	2. 全体	3. 規模別	4. 業種別	5. 追加設問
---------	-------	--------	--------	---------

業況判断【好転】企業コメント一覧

製造業	関連グループ会社からの新規受注がある。
	製品部門単位では温度差があるが、企業(全体)では減収増益。
	昨年対比ではコロナ特需により売上が好転したが、今年は新規取引先開拓により改善の見込み。
	昨年はコロナ禍により売上が減少したが、今年は持ち直す見込み。特に海外向が落ち着きつつある。
	昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受注が減少していた。
	売上は地金単価の上昇により増加を見込む。
	新型コロナウイルス感染症の影響にて衣料品加工量が減少していたが、今年4月以降、若干回復基調にある。
	昨年同時期はコロナ禍により生産調整が多かったが、現在はフル生産中。
	昨年4月～8月に新型コロナウイルス感染症の影響で生産数・売上数が大きく減少したため、対前年比で今期は好転。
	去年はコロナ禍で売上が減ったが、今年に入ってから100%ではないが戻りつつある。
	半導体不足が今後の売上に関わってくる。
	引合いは回復している。
	今後は少し回復基調。
独自性の高い製品の製造および、その生産能力と技術により2020年以降の引合いは増加中。人員と人材については、社内に教育体制が敷かれている為、時間はある程度必要とされるものの増員への対応力は高い。増加している失業者に対して雇用枠をいかに提供できるかが、企業として取り組む課題と認識している。	
スプレッドが安定して確保できている。	
建設業	当期は公共工事を中心に完成が多く、利益も増加する見込み。
卸売業	金融機関からの売込は積極的である。
サービス業	コロナ禍により、家電製品の見直しがあるのか、エアコン、テレビなどの買い替えが例年通りかそれ以上になる見込み。
	コロナ禍で荷物が減少する顧客と増加する顧客がありまちまちだが、増加の方が多く、売上も増加しており、今後も見込める。
	昨年に比べ、向上しているのは間違いないが、飛躍的というわけではない。今後に期待はできるが、緩やかではある。

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業況判断【悪化】企業コメント一覧

製造業	コロナ禍で元請の設備投資が延期されているため売上減少。
	新型コロナウイルス感染症の拡大により店舗販売減少。
	一部の原料が高騰して玉繰りが厳しくなっているものがある。
	人の入れ替わりが激しい業界のため、人材の定着と育成が課題である。
	客先の設備投資予算減少の影響を受け、受注減少する見込み。
	昨年も悪い状況であったが、今年はさらに悪くなる。好転する材料がなんら見当たらない。
	新型コロナウイルス感染症による影響は改善されたが、半導体不足やその他原材料の不足による影響が大きくなった。 コロナ禍で自動車関係の受注が減ったため。
建設業	今後のウッドショックの状況によって大きく左右される。
	若手社員の採用、定着率が芳しくなく、中途採用等積極的な採用活動を行うことが急務。
	新型コロナウイルス感染拡大により経済が低迷し、企業の設備投資が冷え込んできたため建築工事が減少してきた。
	ウッドショックにより「今後の不安」、「材料の高騰」、「見積数の減少」。新築が建たない。
卸売業	新型コロナウイルス感染拡大の防止により、地域の行事やスポーツ大会、学生の試合の中止のため、冷凍や氷の受注がない。
	新型コロナウイルス感染症の影響で売上、利益とも悪化している。終息後に前の数字に戻るか疑問。
小売業	コロナ禍の中途半端な対策により人流の抑制が長期化しており、経済活動が低下し、消費活動が激減している。今後も対応次第では悪化する。
	新型コロナウイルス感染症の影響で全ての行事が自粛や簡素化し、物が動かなくなった。
	廃業も視野に入れている。
サービス業	緊急事態宣言の延期等による影響が大きく、集客が困難。ワクチン接種の普及が進まない限り業界は厳しい。
	長引く緊急事態宣言で需要停滞。今後の見通しも緊急事態宣言次第で分からない。
	新型コロナウイルス感染症による影響でイベント等の中止の継続が見込まれる。
	昨年は支援金で資金繰りできたが、今年はそれが無い分かなり苦しい。
	宿泊業部門は3か月前も3か月後も回復の見込みはない。

1. 調査概要

2. 全体

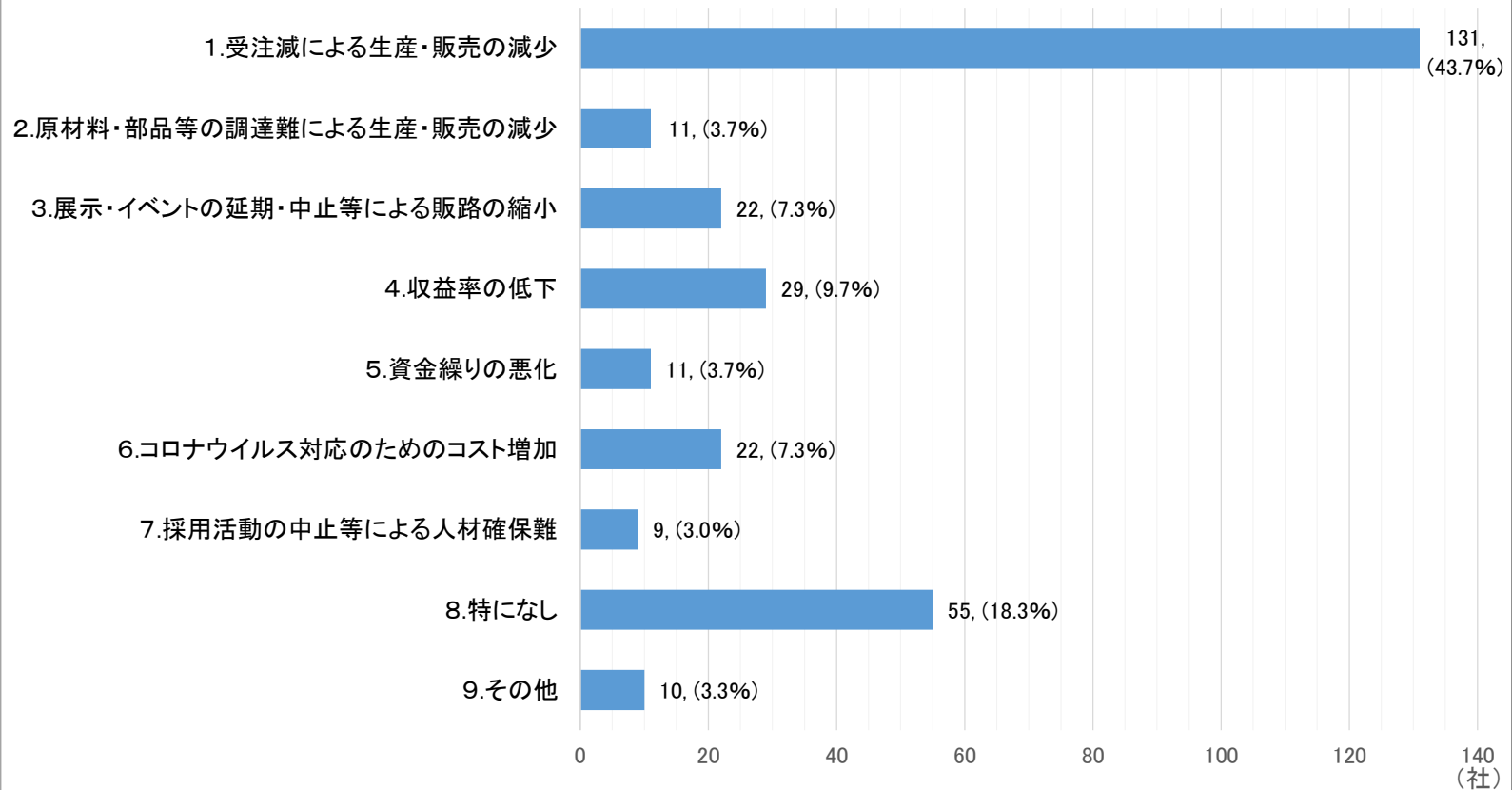
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

新型コロナウイルス感染症の拡大により、最も事業活動に影響を及ぼしている内容について尋ねたところ（n=300）、「1.受注減による生産・販売の減少」（131社）が最も多かった。「9.その他」の内容としては、「従業員の心理的ストレスの蓄積」や「テレワーク環境の準備」などの影響があった。

新型コロナウイルスによる事業活動への影響



1. 調査概要

2. 全体

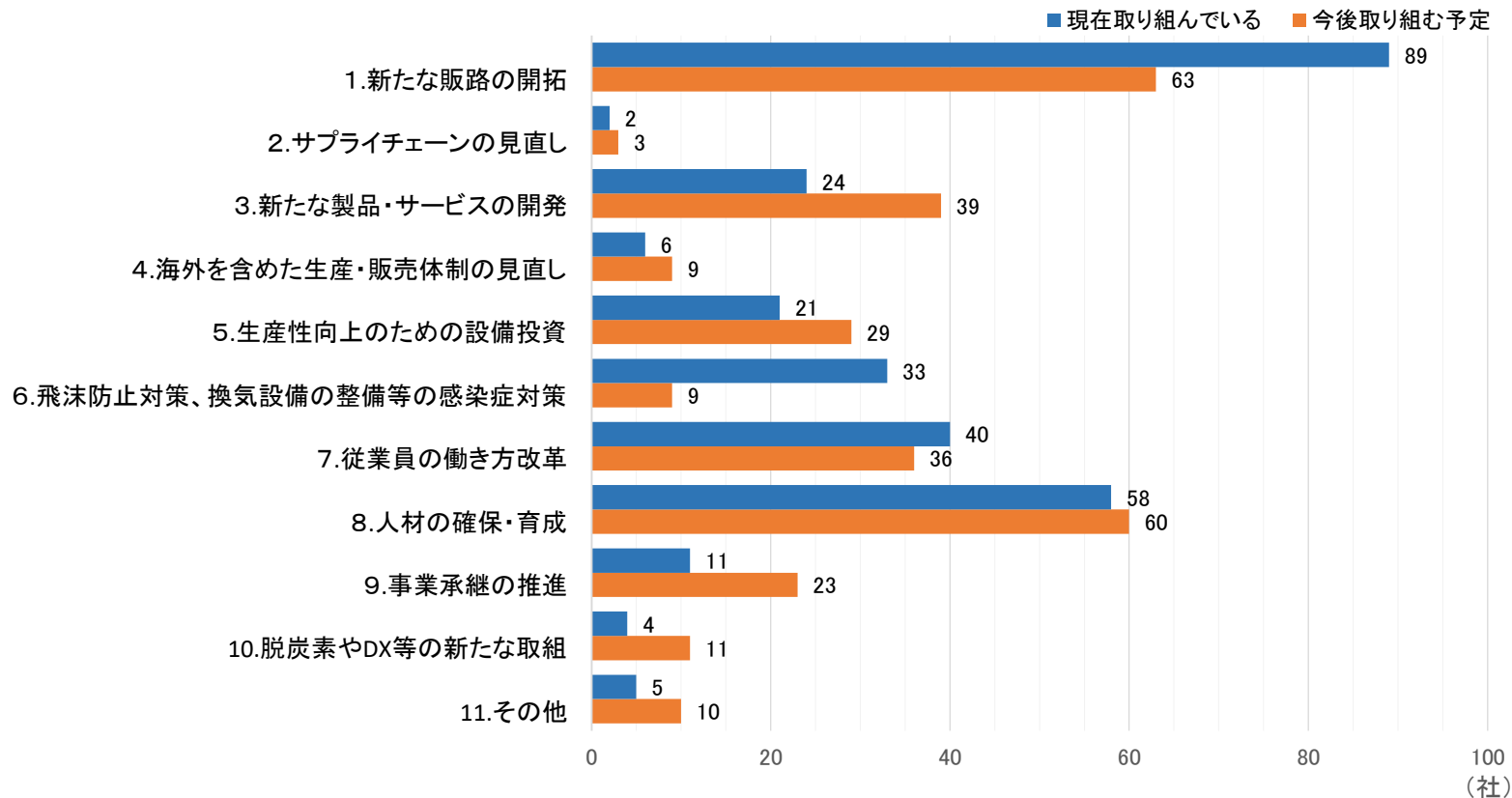
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

ポストコロナを見据えた企業の現在と今後の取組について尋ねたところ、現在の取組(n=293)としては、「1.新たな販路の開拓」が89社で最も多く、次いで「8.人材の確保・育成」(58社)、「7.従業員の働き方改革」(40社)となった。また、今後取り組む予定の内容(n=292)についても「1.新たな販路の開拓」が63社で最も多く、次いで「8.人材の確保・育成」(60社)、「3.新たな製品・サービスの開発」(39社)となった。

ポストコロナを見据えた現在と今後の取組



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

ポストコロナを見据えた今後の取組（スライド27）として、新たな販路の開拓や人材の確保・育成などが多く選択された。選択した取組に着手する予定時期（n=291）について尋ねたところ、「半年～1年後」（163社）が最も多く、次いで「1年～2年後」（57社）、「2年～3年後」（18社）となった。

「ポストコロナを見据えた今後の取組」に着手する予定時期

